

人口推計結果について

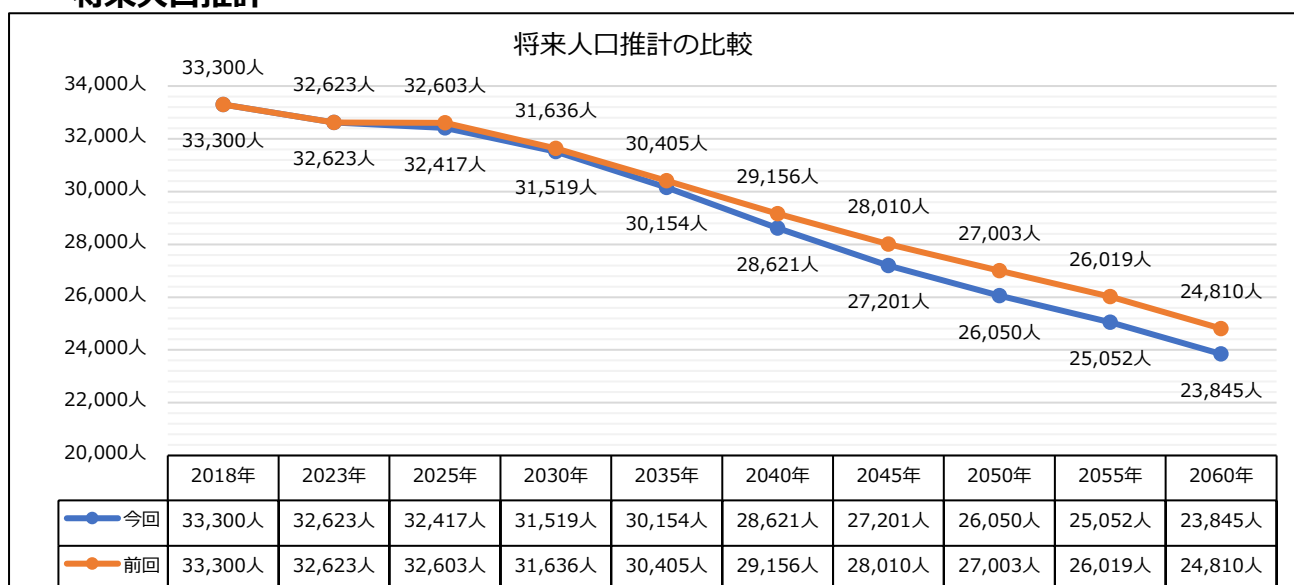
資料 4

1. 人口推計の概要

- ・方 法 ：コーホート要因法（前回も同様）
- ・基準人口：2018（平成 30）年・2023（令和 5 年）年
（前回基準人口：2015（平成 27）年・2020（令和 2）年）

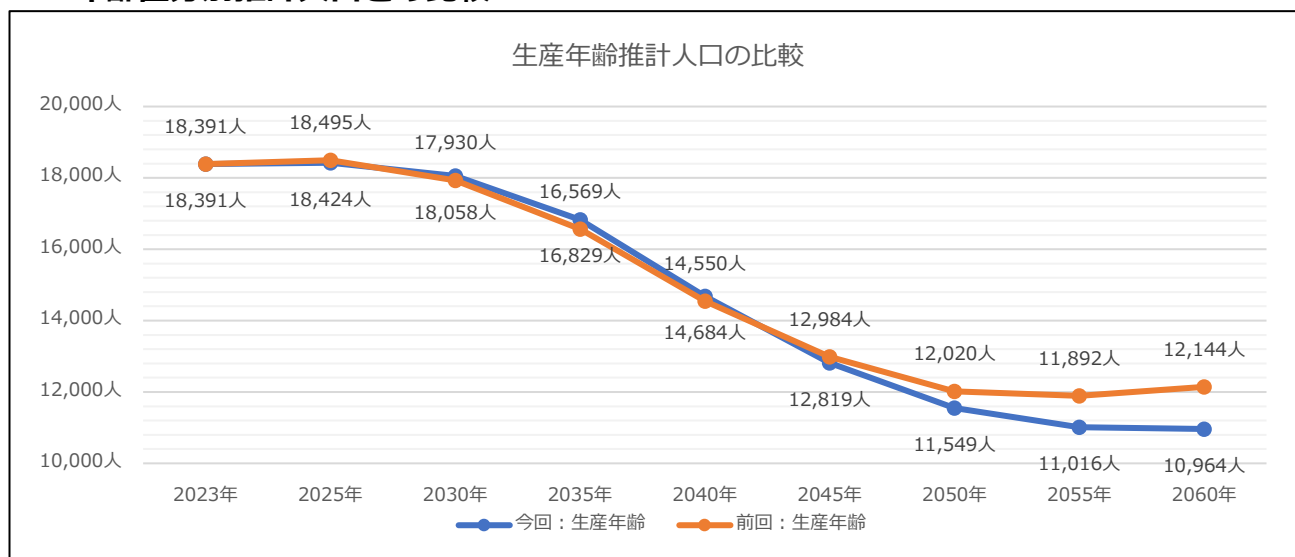
2. 前回結果との比較

・将来人口推計

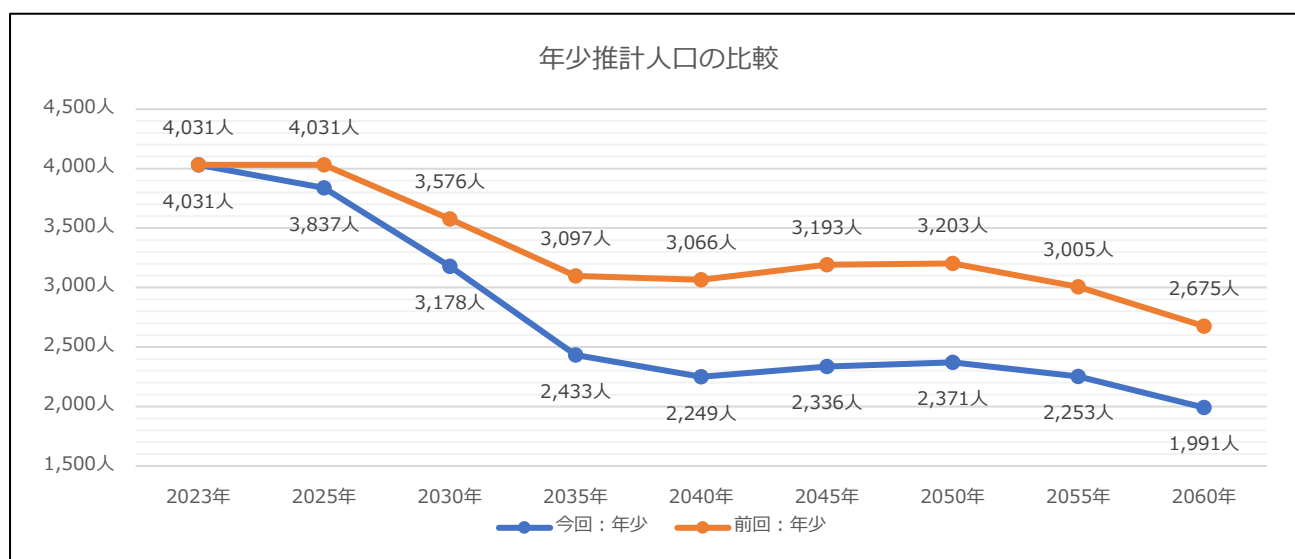


第四次後期基本計画における人口推計結果との比較をみると、人口減少のスピードが速くなっていることが分かります。2023 年を基準とし、2040 年と比較すると人口が約 15%多く減少し、2060 年と比較すると約 12%多く減少しています。

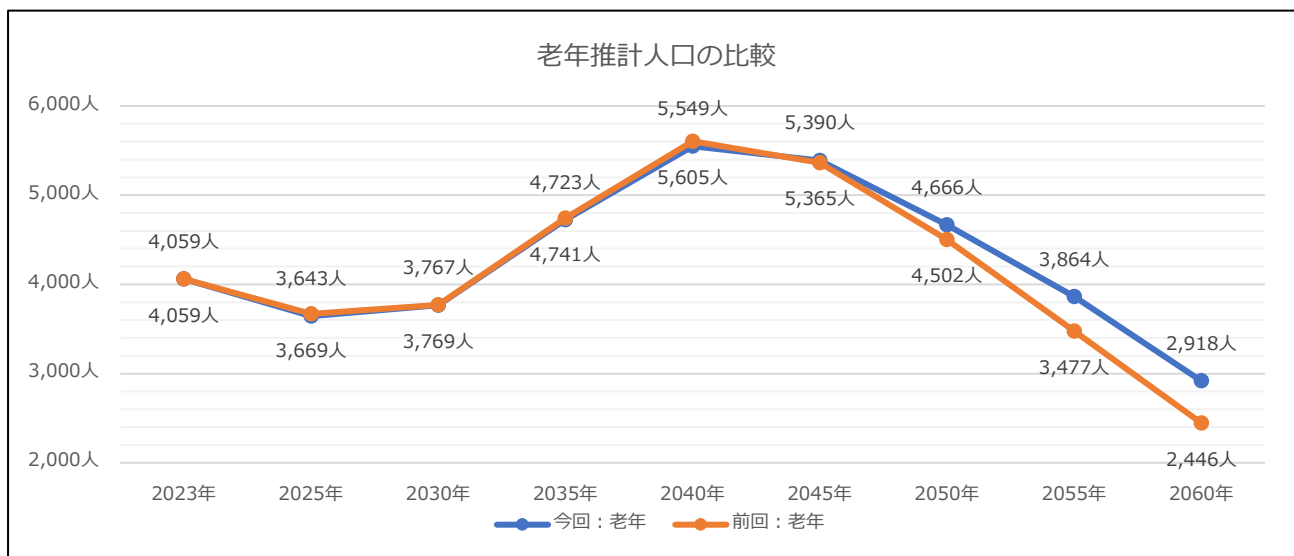
・年齢区分別推計人口との比較



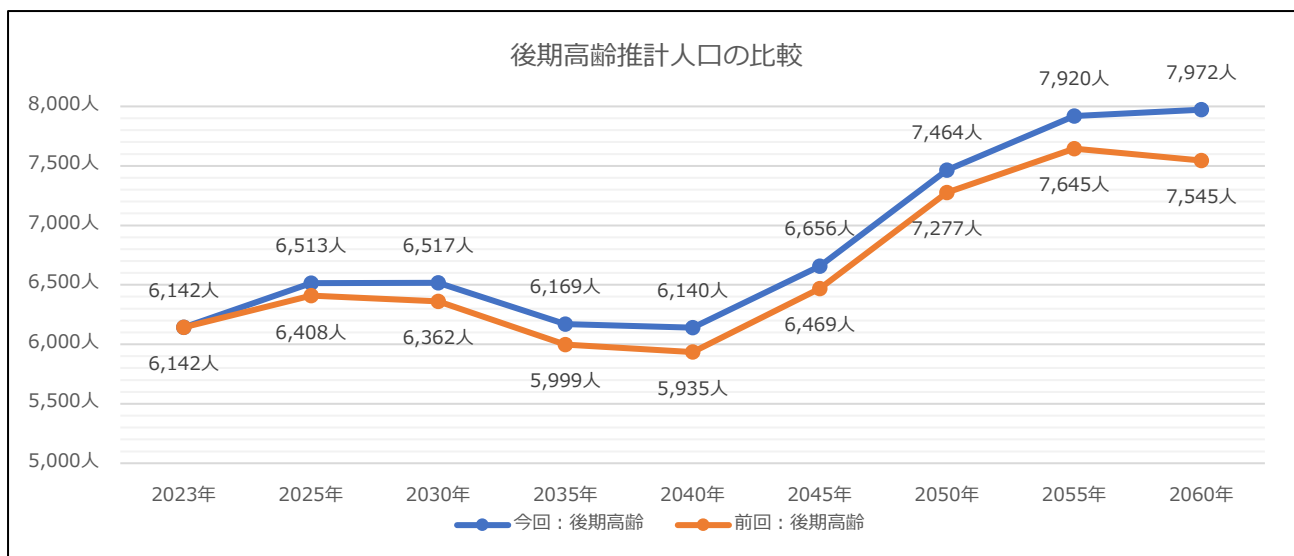
生産年齢人口については、2040 年は前回と大きな差はありませんが、2045 年以降は減少スピードが増し、2023 年を基準とし、2060 年と比較すると人口が約 20%多く減少しています。



年少人口については、前回に比して大きく減少していますが、これは近年の出生数の減少が大きく影響していると考えられます。2023 年を基準とし、2040 年と比較すると約 85%、2060 年と比較すると約 51%多く減少しています。



老年人口については、2040 年は前回と大きな差はありませんが、2045 年以降は減少に転じます。しかし、前回と比較すると減少スピードが緩やかになっており、2023 年を基準とし、2060 年と比較すると人口が約 29%増加しています。



後期高齢人口については、前回に比して増加傾向が見て取れます。2023 年を基準とし、2060 年と比較すると約 30%多く増加しています。

・人口ピラミッドでの比較

